

村田光隆議員

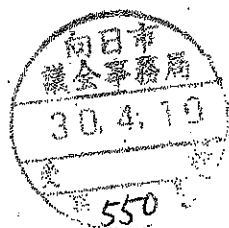
平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）

政務活動費収支報告書

領収書（写し）綴り

様式第1号・その1（第7条関係）

政務活動費収支報告



平成30年4月10日

向日市議会議長
永井照人様

会派名 会派に属さない議員
経理責任者 村田光隆 (印)

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）
政務活動費収支報告書について

向日市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項
に基づき、別紙のとおり、平成29年度（平成29年4
月～平成30年3月）政務活動費収支報告書を提出しま
す。

様式第1号・その2 (第7条関係)

政務活動費収支報告書

平成29年度 (平成29年4月～平成30年3月)
政務活動費収支報告書

会派名

1 収入
政務活動費 129,600 円

2 支出 (単位：円)

項目	金額	備考
調査旅費	40,020円	先進地視察(東京都豊島区)
研究研修費	28,477円	議員研修費
資料作成費	240円	向日市役所コピー代
合計	68,737円	

3 残額 60,863 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

調査旅費

交通費

領収証

JTB西日本



自由 光隆 様
 以下の乗車回数に領収いたしました。

旅行 3月17日 池袋駅発神田駅迄として

ご入金 2017/04/23 池袋 122.820
 内 訳

池袋駅



池袋駅

池袋

池袋

池袋駅

領収箇所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

①3017016

UIC
 お客様用

領収証 村田光隆 様

ご利用日付 2017年 5月17日

時刻 15時53分

池袋 - 神田

取引内容 きっぷ購入
 購入金額 金200円
 お支払方法 内訳
 現金 金200円

伝票番号 65890

- この領収証は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

池袋駅 券376発行
 JR東日本

調査旅費

宿泊費

領 収 証

No. 003796

村田光隆 様

¥ 22,500 -

収 入
印 紙

但

2005.12

入金日 2005年 5月 17日 上記正に領収いたしました

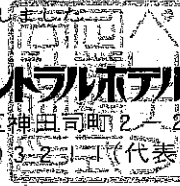
内 訳

税抜金額

消費税額 (%)

クラントセントラルホテル

〒101 東京都千代田区神田司町2-1-2
-0048 電話 03(3256) 3-2311(代表)



係印

内 調査旅費として、1泊 1万1千2百50円

食事代

領 収 証

No. _____

村田光隆 様

H29 年 5 月 17 日

¥ 9,750 -

但

お食事代

上記正に領収いたしました

内 訳
現金
小切手
手形
消費税額 (9%)

麵 舗 十 六

〒171-0014 豊島区池袋3-6-8

研究研修費

研修参加費

領 収 書	No. <u>052</u>
村田 光隆 殿	平成29年 5月 18日
¥15,000	
但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (29.5.18~.5.19) 上記の金額を領収いたしました	
財団法人 日本自治創造学会 理事長 穂坂邦夫 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-12-2 タック馬喰町 707号 TEL 03(5623)0472・FAX 03(5623)0473	

交通費

神田-
御茶ノ水

領収証	村田光隆 様	
ご利用日付	2017年05月18日	
時刻	11時16分	
取引内容	乗車券類	
購入金額	金140円	
お支払方法	内訳	
現金	金140円	
伝票番号 54422		
・この領収証は大切に保存してください。 ・毎度ありがとうございます。		
神田駅 券208発行 JR東日本		

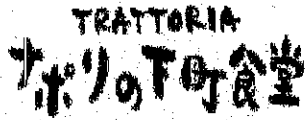
領収証	村田光隆 様	
ご利用日付	2017年05月18日	
時刻	17時45分	
取引内容	乗車券類	
購入金額	金140円	
お支払方法	内訳	
現金	金140円	
伝票番号 52461		
・この領収証は大切に保存してください。 ・毎度ありがとうございます。		
御茶ノ水駅 券104発行 JR東日本		

領収証	村田光隆 様	
ご利用日付	2017年5月19日	
時刻	09時05分	
取引内容	きっぷ購入	
購入金額	金140円	
お支払方法	内訳	
現金	金140円	
伝票番号 26138		
・この領収証は大切に保存してください。 ・毎度ありがとうございます。		
神田駅 券274発行 JR東日本		

宿泊費

1泊 1万1千2百5十円 領収書は調査旅費に添付

食事代



ナポリの下町食堂 03-3291-3601

千代田区神田駿河台2-1-45
ニュー駿河台ビルB1F

<http://www.giraud.co.jp>
ホームページで店舗の紹介を
しております。是非ご覧下さい。

2017年 5月18日(木)12時54分000101

Cランチ	¥940外
Lグリーンサラダ	¥160外
伝票No. 448	テーブルNo. 54
小計額	¥1,100
外税	¥88
合計	¥1,188
現金	¥1,500
(消費税等)	¥38)
お釣	¥312
合計点数	2点
06 扱河野	No. 2617 1名



お茶の水カフェ・カリ店 03-3233-6731

東京都千代田区神田駿河台2-1
お茶の水クリスタルセンター1F

2017年 5月19日(金)12時23分000101


彩のサイ/雑穀パン	¥180内
クリームパン	¥140内
ブレンドコーヒー(サイフォン)	¥299内
小計額	¥619
(内税)	¥46
合計	¥619
現金	¥1,000
お釣	¥381
合計点数	3点
21 扱	No. 4650

資料作成費

コピー代




領 収 書

納付者 住 所 向日市寺戸町中野20 向日市役所内		
氏 名 村田 光隆 様		
第0020877号	平成29年度	一般会計
金 額 180 円		
ただし、 平成29年4月～6月分 私用コピー料		
納付場所： 市役所又は取扱金融機関 (裏面)		
納期限 平成 29年 7月 31日		
上記のとおり領収しました。		領収日付印
向日市会計管理者 向日市指定金融機関 向日市指定代理金融機関 向日市収納代理金融機関		

(納付者保管)

向日市

領 収 書

納付者 住 所 向日市寺戸町中野20 向日市役所内		
氏 名 村田 光隆 様		
第0056603号	平成29年度	一般会計
金 額 60 円		
ただし、 平成29年10月～12月分 私用コピー料		
納付場所： 市役所又は取扱金融機関 (裏面)		
納期限 平成 30年 1月 31日		
上記のとおり領収しました。		領収日付印
向日市会計管理者 向日市指定金融機関 向日市指定代理金融機関 向日市収納代理金融機関		

(納付者保管)

向日市

会派視察事務調査報告

向日市議会議員 村田光隆

日時 平成29年5月17日(水) 午後1時30分～午後3時30分
場所 東京都豊島区
視察テーマ 豊島区総合庁舎視察

所感

平成29年第一回定例会で安田市長は、耐震性に問題のある市民会館を取り壊し、市役所庁舎と複合化する案を発表された。

そして現在阪急東向日駅西側に、マンションとスーパー、市役所の一部機能を有した複合施設が建設中だ。

今回訪れた東京都豊島区役所は、複合施設の先進地である。

1階にコンビニエンスストアや薬局が入り、2階～10階が区役所で、11階～49階がマンションになっている。

複合施設の下は、地下鉄の駅にもつながっており、雨の時も濡れることなく、庁舎に行くことができる。

民間活力を利用した区庁舎は、旧庁舎敷地を民間事業者に定期借地することにより、区が借金をせずに建てられている。

区庁舎内は誰でも自由に入出入りできるよう、開かれた庁舎となっている。屋上は狭いながらも庭園になっており、赤ちゃん連れのお母さんが散策され、スカイツリーも遠望できた。また庁舎内を「まるごとミュージアム」化し、区の歴史パネルや工芸品が展示されていた。しかし役所内へ立ち入るのに、少々敷居が高いのか、鑑賞されている人はいなかった。

区役所の窓口は、区民に利用しやすい工夫がされている。

窓口業務を一本化し、住民票を取りに来た区民も、健康保険の用件で訪れた方も皆同じ窓口になっている。

そして業務を民間委託したことにより、窓口対応が良くなり、評判も上がったとのことであった。

窓口業務に従事されている民間職員は、皆派遣労働者であった。

今後も窓口業務だけでなく、他の業務も民間委託を進めていきたいという。

本市でも駅の近くに窓口ができ、市民にとって利便性が良くなるのは間違いない。

窓口も一本化させなければならないと思う。

しかし豊島区のように、窓口業務を民間委託してしまうと、非正規雇用の派遣労働者を新

たに生む結果となり、官製ワーキングプアを助長してしまうのではないかという疑問を持った。

本市で指定管理している、社会福祉協議会やスポーツ施設ゆめパレア向日で働く人達の大半は、非正規労働者で時給千円にも満たない方もおられる。

窓口の民間委託は、現時点では時期尚早だと感じた。

まずは公務員である職員が、窓口業務のサービスを向上させるべきである。

日 時	平成29年5月18日(木)～19日(金)
場 所	明治大学アカデミーホール
主催	日本自治創造学会
研修テーマ	～前例から創造へ～ 人口減・高齢化を乗り越える

昨年に続き、日本自治創造学会の研究大会に参加させていただいた。

我が国は、毎年人口が減り続けている。

人口減の方策はあるのか、何かヒントを得ようと講師の話をお聞きしたが、どの講師も具体的な方策はなく、なるように身を任すしかない、議論をするのも無駄だと言う者までいた。

テーマが難しすぎるのか、講師の能力がないのか、酷く失望してしまった。

数百人の参加者がいたが、闊達な質疑応答もなく、お開きとなってしまった。

昨年は元厚生労働省事務次官の村木厚子氏の講演があり、非常に有意義であったことを研修報告に書かせていただいたが、今年は残念でならない。

初日に訪れた豊島区の視察がせめてもの救いとなった。

これからは、研修の題目と講師陣をしっかりと選んで参加したいと思う。

研修の成果がなかったため、以下持論を書かせていただく。

現在置かれている状況では、人口減少と高齢化は避けられない。

しかし歯止めをかけて、減少を緩やかにすることはできると思う。

昨今の多様な働き方により、結婚をする人が減ってきた。

いや、結婚できない人が増えたと言うべきか。

今や労働人口の4割が非正規雇用労働者で占められている。

最低賃金は1000円にも満たない。

フルタイムでしっかり働いても、手取り15万円あるかどうかである。

家賃、光熱費、健康保険、年金、所得税、住民税を払えば、食べていくだけで精一杯で、貯金などできるはずもない。

もちろん、結婚をするお金もなく、子供もできない。

労働人口4割の非正規労働者達が働いているうちは、わずかばかりでも我が国を支えていただけるが、職を失ったり、定年を迎えれば、たちまち生活保護予備軍に早変わりする。

これは将来の日本にとって危機的だ。

政府は働き方改革を進めているが、非正規労働者の待遇改善を行わなければならない。

私は正規労働者並みの賃金引上げをしなければならないと思う。

国際社会との競争に打ち勝ちながら、待遇改善をしていかなければ、この国は滅びてしまう。

まずは視察先の豊島区のような、自治体職員の非正規化を早急に止めるべきだ。

自治体が非正規化を進めていると、民間企業もまねをする。

すると賃金の低い労働者が増えるので、ますます税収も落ち込む。

税収が落ち込めば、自治体は非正規職員を増やす。

この連鎖を断ち切ることができるのは、公の機関だけである。

向日市も民間企業に委託している、スポーツ施設や福祉施設で働く労働者のほとんどが非正規雇用である。

市のスポーツ施設で働く非正規は、時給900円だ。

これで一体どうすれば、結婚をして子供を作ることができるのか。

このことを追及しても、市は労働基準に則って正しく運営していると言うばかりだ。

恐らく全国の自治体でこのような有様であろう。

自治体に改善する気がない以上、国に抜本的な働き方改革を行っていただかなければならない。

それが人口減少に歯止めをかける方策であると信じる。

間違っても、外国人移民を受け入れるような愚策を行ってはならない。

治安が悪化し、文化は破壊され、我が国は滅ぶということを付け加えておきたい。